

米販売動向調査について（全米販）（令和5年12月分）

1. 回答数 58会員

2. 調査結果概要

**Q1：昨年12月と比べた令和5年12月（1か月）の米販売量**

「やや増えた」が最多。「やや増えた」、「増えた」の回答数を合わせると約4割となり、「やや減った」、「減った」の回答数を上回っている。

**Q3：3か月前（令和5年9月）と比べた販売動向**

「やや良くなっている」、「変わらない」の回答が多く、「やや良くなっている」、「良くなっている」の回答数を合わせると約5割。DI値は「59.5」となっている。

**Q5：3か月先（令和5年12月頃）の見通し**

「やや悪くなる」の回答が多く、「やや悪くなる」、「悪くなる」を合わせた回答数が、「やや良くなる」、「良くなる」の回答をわずかに上回り、DI値は「48.7」。

3. 集計結果

**Q1：昨年12月と比べた令和5年12月（1か月）の米販売量**

回答者数（会員）					
合計	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
58	8	17	15	10	8
100.0%	13.8%	29.3%	25.9%	17.2%	13.8%

**Q3：3か月前（5年9月）と比べた販売動向**

回答者数（会員）					
合計	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
58	8	20	20	6	4
100.0%	13.8%	34.5%	34.5%	10.3%	6.9%

DI値  
**59.5**

（参考）規模別 DI値		
規模A	規模B	規模C
67.5	53.8	60.7

**Q5：3か月先（6年3月頃）の見通し**

回答者数（会員）					
合計	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
58	1	18	17	21	1
100.0%	1.7%	31.0%	29.3%	36.2%	1.7%

DI値  
**48.7**

（参考）規模別 DI値		
規模A	規模B	規模C
60.0	41.3	50.0

※企業規模について

規模A：米穀の売上高が年間100億円以上、規模B：米穀の売上高が年間25億円以上～100億円未満

規模C：米穀の売上高が年間25億円未満

～主な回答理由～

**Q1：現在（5年12月）の米販売量（前年同月との比較）**

1. 外食等の業務用が良いのは想定できたが、家庭用の販売も好調だった。
2. 業務用の販売はコロナ禍前の水準以上。家庭用は値上げの割には動きが良い。
3. 精米販売は昨年以上となったが、玄米販売は数量確保が難しい。

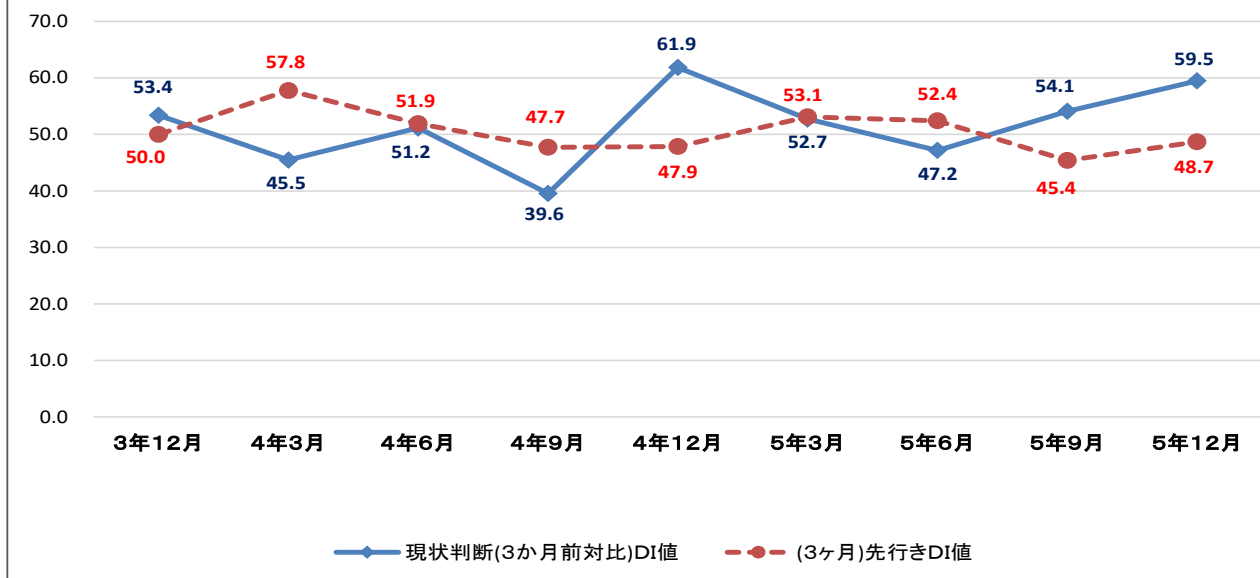
**Q3：過去（3か月前）と現在の動き**

1. 子ども支援事業によるクーポン券の利用で県内産米の販売が急増した。
2. 販売価格が上昇し、影響を心配したが、思いのほか家庭用の販売が好調だった。
3. 精米販売に関しては外食を中心に業務用は好調で、量販店向けに関しても堅調を維持。

**Q5：将来（3か月後）の動き**

1. 低価格帯の原料不足による販売価格の上昇に対して消費者が付いてくるかが問題。
2. もう一、二段の価格の上昇が考えられるので、販売量は弱気の見通し。
3. 値上げの影響はあるが、他の商材も値上がりしている中では、引き続き精米は堅調を維持するのではないかと想定。
4. 卸間売買に関しては提案余力がなく、必要最低限の量しか販売できない見通し。

### 【米販売動向調査（DI）の推移】



#### Q2：昨年12月と比べた令和5年12月（1か月）の米販売量

<仕向先別>	合計	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
(小売店向け)		%	%	%	%	%
大手スーパー	100%	7.9	34.2	28.9	21.1	7.9
中小スーパー	100%	9.1	23.6	43.6	16.4	7.3
米穀専門店	100%	0.0	17.0	37.7	26.4	18.9
その他	100%	13.0	8.7	37.0	17.4	23.9
(外食産業向け)						
外食向け	100%	13.7	37.3	41.2	3.9	3.9
中食向け	100%	7.3	27.3	52.7	7.3	5.5
給食向け	100%	3.5	15.8	70.2	7.0	3.5

#### Q4：3か月前（令和5年9月）と比べた販売動向

<仕向先別>	合計	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている	DI指数
(小売店向け)		%	%	%	%	%	
大手スーパー	100%	7.9	39.5	34.2	13.2	5.3	57.9
中小スーパー	100%	7.3	29.1	49.1	10.9	3.6	56.4
米穀専門店	100%	1.9	14.8	48.1	27.8	7.4	44.0
その他	100%	6.5	8.7	43.5	19.6	21.7	39.7
(外食産業向け)							
外食向け	100%	15.7	29.4	51.0	0.0	3.9	63.2
中食向け	100%	7.3	25.5	63.6	0.0	3.6	58.2
給食向け	100%	3.5	14.0	80.7	0.0	1.8	54.4

#### Q6：3か月先（令和6年3月頃）の見通し

<仕向先別>	合計	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる	DI指数
(小売店向け)		%	%	%	%	%	
大手スーパー	100%	0.0	15.4	51.3	30.8	2.6	44.9
中小スーパー	100%	1.8	20.0	40.0	32.7	5.5	45.0
米穀専門店	100%	1.9	7.5	52.8	28.3	9.4	41.0
その他	100%	0.0	13.0	45.7	21.7	19.6	38.0
(外食産業向け)							
外食向け	100%	5.8	23.1	61.5	7.7	1.9	55.8
中食向け	100%	1.8	20.0	74.5	1.8	1.8	54.5
給食向け	100%	0.0	14.3	78.6	5.4	1.8	51.3

\*DI (diffusion index) の算出方法：内閣府で発表している「景気ウォッチャー調査」方式を採用した。具体的には、5つの回答選択肢に均等に0～1の評価点を与え、各回答の構成比に対応するそれぞれの評価点を乗じ、それらの合計を指数(%ポイント)としてDI値を算出。それが50の場合は横ばい(現状維持)を示す。0に近づくほど販売が低迷傾向にあることを示し、逆に100に近づくほど販売が好調傾向であることを示す。

(算出例)	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
評価点 A	1	0.75	0.5	0.25	0
結果(構成比) B	17.8	20.0	20.0	22.2	20
各DI値 C=A×B	17.8	15	10	5.6	0
DI値(合計)	48.4→米販売の動きはほんの少し低迷傾向				